

不定詞 その3:形容詞的用法

to + 動詞の原形

↑

この形のことを、「不定詞(ふていし)」と呼びます。

その3 : 形容詞的用法 「～するための、～するべき、～する、等」

↳ 注目！！

その1(副詞的用法)、その2(名詞的用法)に比べて、
意味(訳し方)がつかみづらいのが、この「その3(形容詞的用法)」なのです(ーoー)
 その場その場、その文ごとに、合うような意味(訳し方)で理解していくしかないね。

★ただ、英文の中に現れる「形」に特徴があるから、それをまずつかもう！★

↓それはこんな「形」

名詞	+	その直後に不定詞(to + 動詞の原形)
----	---	----------------------

そして、この「形」の部分は、

「～するための(～するべき、～する)

〇〇(名詞)

」という意味になります φ(^_^)

英語の場合	:	<table border="1"><tr><td>名詞</td></tr></table> + 不定詞(to + 動詞の原形)	名詞
名詞			

↑ 比べてみよう! ↓

日本語の場合	:	～するための(～するべき、～する) <table border="1"><tr><td>〇〇(名詞)</td></tr></table>	〇〇(名詞)
〇〇(名詞)			

☆

名詞

 の部分と 不定詞(to + 動詞の原形) の部分が、英語の場合と日本語の場合では、順番が逆になっているね！ これポイント(^o^)

a book

 to read 読むための(読むべき)

本

places

 to visit 訪れるための(訪れるべき)

場所

a present

 to give you あなたにあげる(ための)

プレゼント

time

 to study English 英語を勉強するための

時間

何となくつかめてきたかな～♪

something

 to read 読むための

何か

 (何か読むためのもの、何か読むもの)

something

 to eat 食べるための

何か

 (何か食べるためのもの、何か食べるもの)

something

 to drink 飲むための

何か

 (何か飲むためのもの、何か飲むもの)

↑

この something(何か)シリーズは、不定詞の例文や問題の中で非常によく見るので、
 文の形(something + 不定詞(to + 動詞の原形))と、意味(訳し方)をよく頭に入れておこう o(^▽^)